

## 八溝山の鳥類

茨城動物研究会

### はじめに

茨城県北西地域に位置する八溝山は茨城県最高峰の標高 1,022 m を有し、山頂付近は福島県と栃木県の3県に接している。山頂一帯はブナ・スズタケ群集とヒノキを主体とする人工林から形成されている。

本調査は八溝山一帯に生息する鳥類を 2003 年度に調査地点とロードサイドセンサスコースを設定するための予備調査を、2004 年から 2005 年の 2 年間にわたり月一度の現地調査を実施した。これらの調査から八溝山一帯の鳥類目録を作成したので報告する。

### 調査地点および調査方法

調査地点は八溝山山頂付近の茨城県内に 4 か所のロードサイドセンサスコース (①) を設定し、コース上から観察された全ての出現鳥類を記録した (図 1)。

なお、降雪により調査地点を変更して実施した位置は (②, ③) である。また、第 4 次総合調査範囲内の

久慈川河川敷に 2 か所の定点調査地点 (④, ⑤) を設定し八溝山以外の鳥類の把握にも努めた (図 2)。

### 調査結果 (八溝山)

調査期間中の観察記録種は 7 目 22 科 60 種、外国産 2 目 2 科 3 種であった。それらの種を目ごとにまとめて列記する (付表)。

タカ目 Order FALCONIFORMES

タカ科 Family Accipitridae

1. ハチクマ *Pernis apivorus*
2. トビ *Milvus migrans*
3. オオタカ *Accipiter gentilis*
4. ノスリ *Buteo buteo*

ハヤブサ科 Family Falconidae

5. ハヤブサ *Falco peregrinus*

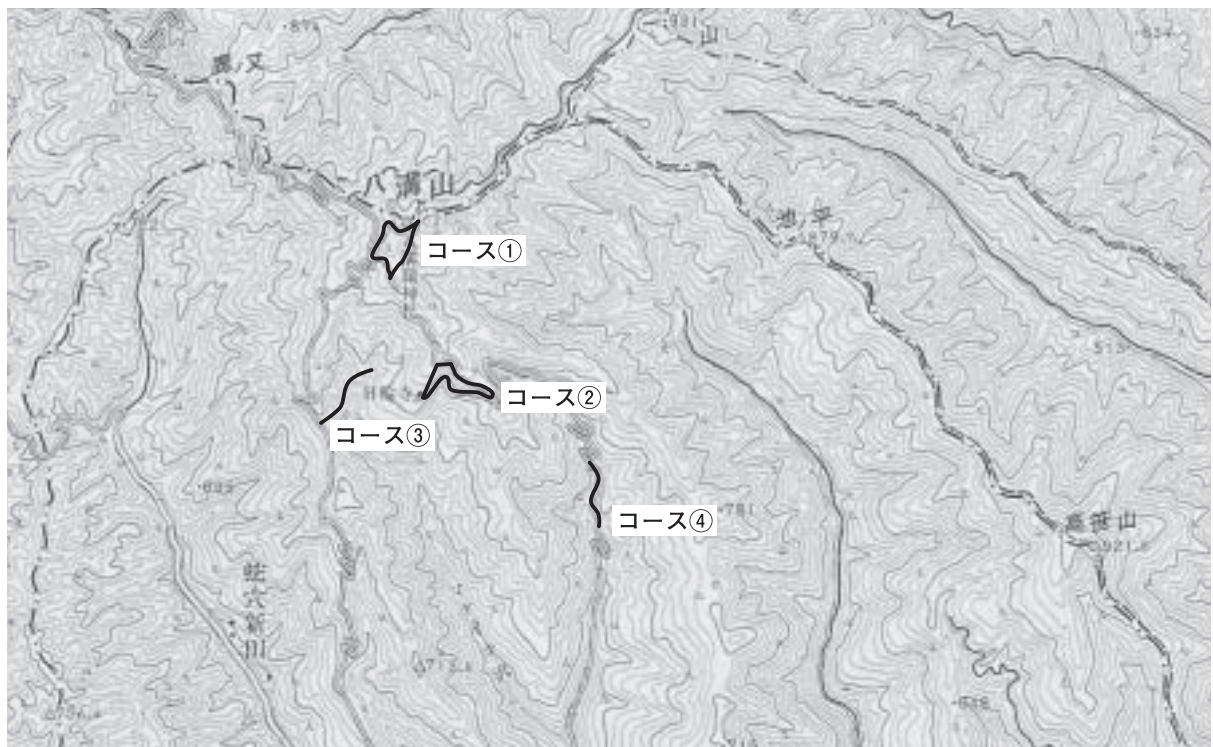


図 1. ロードサイドセンサスコース位置図 (国土地理院発行 1 : 50,000 地形図「埴」を一部改変)。

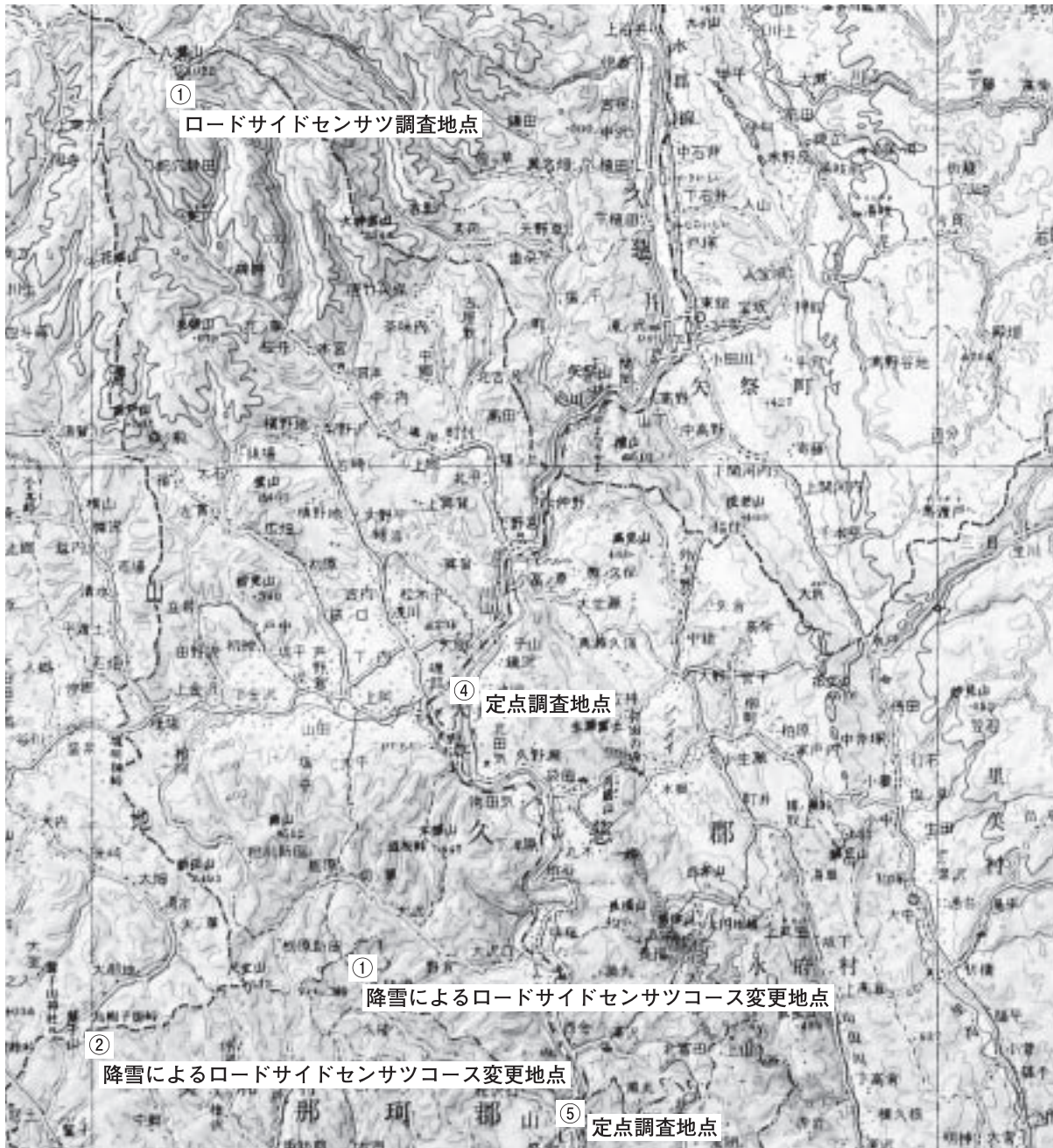


図2. 調査地点位置図（国土地理院発行1：200,000地勢図「白河」を一部改変）。

キジ目 Order GALLIFORMES

キジ科 Family Phasianidae

6. ヤマドリ *Symaticus soemmerringii*

ハト目 Order COLUMBIFORMES

ハト科 Family Columbidae

7. キジバト *Streptopelia orientalis*

8. アオバト *Treron sieboldii*

カッコウ目 Order CUCULIFORMES

カッコウ科 Family Cuculidae

9. ジュウイチ *Cuculus fugax*

10. ツツドリ *Cuculus saturatus*

11. ホトトギス *Cuculus poliocephalus*

フクロウ目 Order STRIGIFORMES

フクロウ科 Family Strigidae

12. フクロウ *Strix uralensis*

キツツキ目 Order PICIFORMES

キツツキ科 Family Picidae

13. アオゲラ *Picus awokera*

14. アカゲラ *Dendrocopos major*

15. コゲラ *Dendrocopos kizuki*

スズメ目 Order PASSERIFORMES

セキレイ科 Family Motacillidae

16. キセキレイ *Motacilla cinerea*  
 17. セグロセキレイ *Motacilla grandis*  
 18. ビンズイ *Anthus hodgsoni*  
 ヒヨドリ科 Family Pycnonotidae  
 19. ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*  
 モズ科 Family Laniidae  
 20. モズ *Lanius bucphalus*  
 ミソサザイ科 Family Troglodytidae  
 21. ミソサザイ *Troglodytes troglodytes*  
 イワヒバリ科 Family Prunellidae  
 22. カヤクグリ *Prunella rubida*  
 ツグミ科 Family Turdidae  
 23. コマドリ *Erithacus akahige*  
 24. コルリ *Luscinia cyane*  
 25. ルリビタキ *Tarsiger cyanurus*  
 26. ジョウビタキ *Phoenicurus aureoreus*  
 27. アカハラ *Turdus chrysolaus*  
 28. シロハラ *Turdus pallidus*  
 29. ツグミ *Turdus naumanni*  
 ウグイス科 Family Sylviidae  
 30. ヤブサメ *Urosphena squameiceps*  
 31. ウグイス *Cettia diphone*  
 32. エゾムシクイ *Phylloscopus tenellipes*  
 33. センダイムシクイ *Phylloscopus coronatus*  
 34. キクイタダキ *Regulus rugulus*  
 ヒタキ科 Family Muscicapidae  
 35. キビタキ *Ficedula narcissina*  
 36. オオルリ *Cyanoptila cyanomelana*  
 37. サメビタキ *Muscicapa sibirica*  
 エナガ科 Family Aegithalidae  
 38. エナガ *Aegithalos caudatus*  
 シジュウカラ科 Family Paridae  
 39. コガラ *Parus montanus*  
 40. ヒガラ *Parus ater*  
 41. ヤマガラ *Parus varius*  
 42. シジュウカラ *Parus major*  
 ゴジュウカラ科 Family Sittidae  
 43. ゴジュウカラ *Sitta europaea*  
 メジロ科 Family Zosteropidae  
 44. メジロ *Zosterops japonicus*  
 ホオジロ科 Family Emberizidae  
 45. ホオジロ *Emberiza cioides*  
 46. カシラダカ *Emberiza rustica*  
 47. ミヤマホオジロ *Emberiza elegans*  
 48. ノジコ *Emberiza sulphurata*

49. アオジ *Emberiza spodocephala*  
 50. クロジ *Emberiza variabilis*  
 アトリ科 Family Fringillidae  
 51. カワラヒワ *Carduelis sinica*  
 52. マヒワ *Carduelis spinus*  
 53. ベニマシコ *Uragus sibiricus*  
 54. ウソ *Pyrrhula pyrrhula*  
 55. イカル *Eophona personata*  
 56. シメ *Coccothraustes coccothraustes*  
 カラス科 Family Corvidae  
 57. カケス *Garrulus glandarius*  
 58. オナガ *Cyanopica cyana*  
 59. ハシボソガラス *Corvus corone*  
 60. ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*

## 外来種

## キジ目

## キジ科

61. コジュケイ *Bambusicola thoracica*

## スズメ目

## チメドリ科 Family Timaliidae

62. ガビチョウ *Garrulax canorus*  
 63. ソウシチョウ *Leiothrix lutea*

## 考 察

## 1. 八溝山における出現種数から

八溝山頂における出現種類数が多かったのは5月から7月にかけての繁殖期で最大は04年の5月の21種であった。最低出現種類を記録したのは05年の3月だった。

山頂付近は面積が狭く鳥類が越冬するには劣悪の状態であらうと鳥影を確認することが出来なかった。一方、夏期にはブナ帯の豊かな生態系を求めて数こそ少ないものの夏鳥が飛来し繁殖をしている。

また、夜行性の鳥類を確認することを目的として夏期に2度現地調査を実施したがフクロウ以外を確認することは出来なかった。

## 2. 八溝山における注目種から

今回の現地調査において『茨城における絶滅のおそれのある野生生物』としてリストアップされている危急種3種と希少種5種を確認した。

危急種のオオタカとハヤブサは帆翔中のものを確認したもので探餌行動と思われた。コマドリは繁殖期にさえずりを確認したことから少数が繁殖しているものと思われる。

希少種のハチクマは繁殖期特有のディスプレイ飛翔を観察したことから、八溝山頂付近での繁殖の可能性は低いものの周辺で繁殖しているものと思われる。ジュウイチはヒナの仮親となる同じく希少種のコルリ、オオルリを確認したことから繁殖の可能性は高い。ゴジュウカラは04年の4月に一度確認したもので繁殖の可能性は低いと考えられる。

また、『絶滅のおそれのある野生生物』には指定されていないが、本邦における生息分布が局所的であるノジコが確認できたことは特筆できる。

#### 調査結果（八溝山以外の第4次調査区域内）

八溝山以外の第4次総合調査範囲内での現地調査記録種は八溝山での調査結果を除き9目16科29種であった。

#### カイツブリ目 Order PODICIPEDIFORMES

##### カイツブリ科 Family Podicipedidae

1. カイツブリ *Tachybaptus ruficollis*

#### ペリカン目 Order PELECANIFORMES

##### ウ科 Family Phalacrocoracidae

2. カワウ *Phalacrocorax carbo*

#### コウノトリ目 Order CICONIIFORMES

##### サギ科 Family Ardeidae

3. ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*
4. アマサギ *Bubulcus ibis*
5. ダイサギ *Egretta alba*
6. チュウサギ *Egretta intermedia*
7. コサギ *Egretta garzetta*
8. アオサギ *Ardea cinerea*

#### カモ目 Order ANSERIFORMES

##### カモ科 Family Anatidae

9. オシドリ *Aix galericulata*
10. マガモ *Anas platyrhynchos*
11. カルガモ *Anas poecilorhyncha*
12. コガモ *Anas crecca*

#### タカ目 Order FALCONIFORMES

##### タカ科 Family Accipitridae

13. ミサゴ *Pandion haliaetus*

#### キジ目 Order GALLIFORMES

##### キジ科 Family Phasianidae

14. キジ *Phasianus versicolor*

#### チドリ目 Order CHARADRIIFORMES

##### チドリ科 Family Charadriidae

15. イカルチドリ *Charadrius placidus*
16. コチドリ *Charadrius dubius*

##### シギ科 Family Scolopacidae

17. イソシギ *Actitis hypoleucos*
18. タシギ *Gallinago gallinago*
19. アオシギ *Gallinago solitaria*

##### カモメ科 Family Laridae

20. ユリカモメ *Larus ridibundus*

#### ブッポウソウ目 Order CORACIIFORMES

##### カワセミ科 Family Alcedinidae

21. ヤマセミ *Ceryle lugubris*
22. カワセミ *Alcedo atthis*

#### スズメ目 Order PASSERIFORMES

##### ヒバリ科 Family Alaudidae

23. ヒバリ *Alauda arvensis*

##### ツバメ科 Family Hirundinidae

24. ツバメ *Hirundo rustica*
25. イワツバメ *Delichon urbica*

##### セキレイ科 Family Motacillidae

26. タヒバリ *Anthus spinoletta*

##### カワガラス科 Family Cinclidae

27. カワガラス *Cinclus pallasii*

##### ハタオリドリ科 Family Ploceidae

28. スズメ *Passer montanus*

##### ムクドリ科 Family Sturnidae

29. ムクドリ *Sturnus cineraceus*

#### 引用文献

日本鳥学目録編集委員会. 2000. 日本産鳥類目録改訂第6版.

#### 調査研究

石井省三（桜川市役所，茨城県環境アドバイザー）  
調査協力者（横須賀建志，久野敏己，久野雅代）

#### 執筆

石井省三

付表 1. 鳥類の種別出現結果.

種名	調査日	04,01,04 (晴)	04,02,14 (晴)	04,03,13 (晴)	04,04,11 (晴)	04,05,08 (晴)	04,06,13 (晴)
		05,01,29 (曇)	05,02,11 (晴)	05,03,21 (晴)	05,04,09 (晴)	05,05,08 (晴)	05,06,12 (晴)
ハチクマ							○
トビ		※○	○	○			
オオタカ							
ノスリ			○	○			
ハヤブサ			※○				○
ヤマドリ		※○					
キジバト		○	○		○	○	○
アオバト		※○	※○				○
ジュウイチ						○	
ツツドリ						○	
ホトトギス						○	○
フクロウ		○					
アオゲラ				○		○	
アカゲラ					○		○
コゲラ		○			○	○	
キセキレイ		※○					○
セグロセキレイ							
ビンズイ		※○					
ヒヨドリ		○	○	○	○	○	○
モズ		※○	○		○		○
ミソサザイ		○			○	○	○
カヤクグリ		※○	○	○			
コマドリ							
コルリ						○	○
ルリビタキ		○	○	○			
ジョウビタキ		※○	○				
アカハラ						○	
シロハラ		○	○				
ツグミ		※○	※○				
ヤブサメ						○	○
ウグイス		○			○	○	○
エゾムシクイ		※○				○	○
センダイムシクイ							○

※は降雪によりロードサイドセンサスコースを変更した記録.

(続く)

動 物

(付表1. 続き)

種名	調査日	04,01,04 (晴)	04,02,14 (晴)	04,03,13 (晴)	04,04,11 (晴)	04,05,08 (晴)	04,06,13 (晴)
		05,01,29 (曇)	05,02,11 (晴)	05,03,21 (晴)	05,04,09 (晴)	05,05,08 (晴)	05,06,12 (晴)
ククイタダキ				○			
キビタキ						○	○
オオルリ						○	○
サメビタキ							
エナガ			○			○	
	※○	※○			○	○	
コガラ			○		○	○	○
	※○				○	○	
ヒガラ			○		○	○	
	※○		○		○	○	○
ヤマガラ					○	○	○
	※○		○		○		○
シジュウカラ			○	○	○	○	○
	※○	※○	○		○	○	○
ゴジュウカラ					○		
メジロ			○			○	
	※○	※○			○	○	○
ホオジロ			○		○	○	○
	※○	※○	○				○
カシラダカ			○				
	※○						
ミヤマホオジロ							
	○						
ノジコ						○	
アオジ					○	○	
	○				○	○	○
	※○						
クロジ			○				
		※○					
カワラヒワ						○	
						○	
マヒワ			○				
	○						
ベニマシコ			○				
	○	※○					
ウソ							
イカル							
シメ							
	※○						
カケス			○		○		
	○				○		
	※○						
オナガ			○				
		※○					
ハシボソガラス							
ハシブトガラス			○	○	○	○	○
	※○	※○				○	
コジュケイ							
ガビチョウ						○	
ソウシチョウ							

※は降雪によりロードサイドセンサスコースを変更した記録。

(続く)

(付表1. 続き)

種名	調査日	04,07,11 (晴)	04,08,21 ~ 22 (晴)	04,09,11 (曇)	04,10,27 (晴)	04,11,13 (曇)	04,12,11 (晴)
		05,07,17 (晴)	05,08,07 (晴)	05,09,10 (晴)	05,10,08 (曇)	05,11,12 (晴)	05,12,10 (晴)
ハチクマ							
トビ							
オオタカ						○	
ノスリ						○	
ハヤブサ							
ヤマドリ				○			
キジバト	○	○	○	○	○	○	
アオバト	○						
ジュウイチ		○					
ツツドリ							
ホトトギス			○				
フクロウ			○				
アオゲラ					○		
アカゲラ							
コゲラ			○	○	○	○	○
キセキレイ	○					○	○
セグロセキレイ						○	
ビンズイ	○						
ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	
モズ							
ミソサザイ	○	○					○
カヤクグリ							○
コマドリ	○						
コルリ							
ルリビタキ						○	
ジョウビタキ					○	○	○
アカハラ	○				○		○
シロハラ					○		○
ツグミ							○
ヤブサメ	○	○	○				
ウグイス	○	○	○	○	○	○	○
エゾムシクイ							
センダイムシクイ							

※は降雪によりロードサイドセンサスコースを変更した記録.

(続く)

動 物

(付表1. 続き)

種名	調査日	04,07,11 (晴)	04,08,21 ~ 22 (晴)	04,09,11 (曇)	04,10,27 (晴)	04,11,13 (曇)	04,12,11 (晴)
		05,07,17 (晴)	05,08,07 (晴)	05,09,10 (晴)	05,10,08 (曇)	05,11,12 (晴)	05,12,10 (晴)
ククイタダキ				○	○		
キビタキ		○					
オオルリ		○					
サメビタキ				○			
エナガ		○			○		
コガラ				○	○	○	
ヒガラ		○		○			○
ヤマガラ		○		○	○	○	○
シジュウカラ		○	○	○	○	○	○
ゴジュウカラ							
メジロ		○	○	○	○	○	○
ホオジロ		○	○	○	○	○	○
カシラダカ						○	
ミヤマホオジロ						○	
ノジコ							
アオジ					○	○	○
クロジ						○	○
カワラヒワ					○		
マヒワ						○	
ベニマシコ						○	○
ウソ						○	○
イカル		○					
シメ					○		
カケス		○		○	○	○	○
オナガ							
ハシボソガラス				○			
ハシブトガラス		○	○	○	○	○	○
コジュケイ		○					
ガビチョウ		○	○				
ソウシチョウ				○	○		

※は降雪によりロードサイドセンサスコースを変更した記録。